様式１－１

文化遺産総合活用推進事業　実施計画

1 都道府県・市区町村名	淡路市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	淡路市文化遺産活用元気アップ事業		
4 実施計画期間	平成　29　年度　～　平成　31　年度		

5 実施計画の概要

兵庫県歴史文化遺産活用構想(平成14年)や国指定天然記念物野島断層保存管理計画、史跡徳島藩松帆台場跡保存管理計画(平成21年度)、淡路市歴史文化基本構想(平成26年度)の成果などを踏まえ、地域の文化遺産を次世代に継承するとともに、文化遺産を活かした地域活性化を推進するため、以下の事業を実施する。

6 実施体制

本事業については、淡路市が全体計画の企画、調整、事業に対する指導等を行う。
　主な担当課及び役割
　　教育委員会 社会教育課
　　文化財の取り扱いに関する指導等、及び文化遺産に関する情報提供、体験学習等の調整等
　　企画部政策部 まちづくり政策課
　　地域活性化業務に関する連携
　　産業振興部 商工観光課
　　観光振興に関する連携
また、事業実施については、次の団体が実施。
　淡路市文化遺産活用実行委員会（会長：宮本肇）
　　構成団体（淡路市教育委員会、五斗長まちづくり協議会、生田地域活性協議会、株式会社ほくだん）

7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額：　千円	平成29年度申請額：　586 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	

9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）

　地域の文化遺産を活かしたツアーやイベント開催を通して、地域住民が協働した取り組みを行うことにより、地域内での世代間交流や人的交流が活性化され、活力ある地域づくりにつながる。また、地域住民や市民が文化遺産に直接触れる機会を創出することにより、地域の文化遺産を次世代に確実に継承するために必要となる文化遺産の保護意識や伝統文化に対する関心や意識の向上を促す。継続して行うことにより文化遺産を活かしたまちづくりへの輪が広がり、他の地区へと普及していく。
このような活動を通じて、地域の歴史文化の継承が可能となり、生田地域活性協議会会員の増加や活動内容の充実化、定住人口の維持・増加などを見込むことができる。
　国指定天然記念物である野島断層を活かした取組みを通して、将来発生が予想されている大規模地震から地域や身を守る防災意識の向上と、災害という大自然の驚異を次の世代につなげていく。また、講演会や防災教室を通して阪神・淡路大震災を知らない子供たちから大人まで地震の発生メカニズムや地域の地質や野島断層が保存されている意義を学び、大規模災害から地域や身を守る防災についての知識・情報を共有する。このような活動内容を通して、天然記念物である野島断層保存・継承が可能となり、市民・島民の防災意識の向上を目指すことができる。

10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）

事業概要：	
事業概要：	
事業概要：	

11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等

平成26年度策定済み

12 担当部局

地方公共団体担当部局課	淡路市教育委員会　社会教育課

7 実施計画における目標と期待される効果　別紙

目標区分１：	地域の文化資源を活用した集客・交流				
評価指標区分１：	地域の文化遺産への来場者数　（具体的な指標は次のとおり）				
具体的な指標１：	天然記念物　野島断層　記念館への来場者数	関連事業:	③		
目標値１：	平成　28　年度　8,000　名　⇒　平成　31　年度　9,000　名				
設定根拠１：	平成27年度来場者数伸び率は0.9倍で減少傾向であるため、過去3年間の平均来場者数の維持を設定				
進捗状況１：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成　年度	平成　年度	平成　29　年度	平成　30　年度	平成　31　年度	平成　32　年度
名	名	名	名	名	名
目標区分２：	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化				
評価指標区分２：	地域に誇りを感じる住民の割合　（具体的な指標は次のとおり）				
具体的な指標２：	住民意識調査の地域の歴史文化を誇りに感じる割合	関連事業:	①②		
目標値２：	平成　28　年度　30　％　⇒　平成　31　年度　35　％				
設定根拠２：	本年度末に実施予定のため平成28年度の予想値に1.05倍を設定する				
進捗状況２：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成　年度	平成　年度	平成　29　年度	平成　30　年度	平成　31　年度	平成　32　年度
％	％	％	％	％	％

様式１－１別紙②

8（2）実施事業の概要　別紙

事業①：	生田文化遺産めぐりツアー		実施団体：	生田地域活性協議会	
事業区分：	普及啓発		事業期間：	平成　29　年度　～　平成　31　年度	
事業概要：	地域の文化遺産を活かしたツアーを開催。長距離ウォークを行うことで健康関心層へ文化遺産アピールにもなり、本年度拡大した地域めぐりの範囲をさらに拡大して実施することで、会員の文化遺産への関心・保護意識の向上や今後の交流イベントの布石とする。				
評価指標区分：	・その他			（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	生田地区の協議会会員数の保持、増加				
目標値：	平成　28　年度　25　名　⇒　平成　31　年度　30　名				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成　年度	平成　年度	平成　29　年度	平成　30　年度	平成　31　年度	平成　32　年度
名	名	名	名	名	名

事業②：	生田村民俗芸能まつり		実施団体：	生田地域活性協議会	
事業区分：	普及啓発		事業期間：	平成　29　年度　～　平成　31　年度	
事業概要：	地域の民俗文化財を活用し、地域住民とともに伝統あるしめ縄づくりやホタルかごなど地域の伝統文化を伝承し、そば打ち体験を実施することで日本の伝統技能に触れる機会を設ける。				
評価指標区分：	・その他			（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	生田地区の協議会会員数の保持、増加				
目標値：	平成　28　年度　25　名　⇒　平成　31　年度　30　名				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成　年度	平成　年度	平成　29　年度	平成　30　年度	平成　31　年度	平成　32　年度
名	名	名	名	名	名

事業③：	野島断層普及講演会及び親子体験教室事業		実施団体：	淡路市文化遺産活用実行員会	
事業区分：	普及啓発		事業期間：	平成　29　年度　～　平成　31　年度	
事業概要：	地域の国指定天然記念物野島断層を活用し、見学ツアーや防災教室、地震の発生メカニズムなどについての講演会を阪神・淡路大震災の起こった1月17日前後に行うことで、野島断層の価値の共有や、市民の防災意識の向上を目指す。				
評価指標区分：	・その他			（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	市内の小学校の野島断層保存館利用率を3割に増加させる				
目標値：	平成　28　年度　27　％　⇒　平成　31　年度　30　％				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成　年度	平成　年度	平成　29　年度	平成　30　年度	平成　31　年度	平成　32　年度
％	％	％	％	％	％